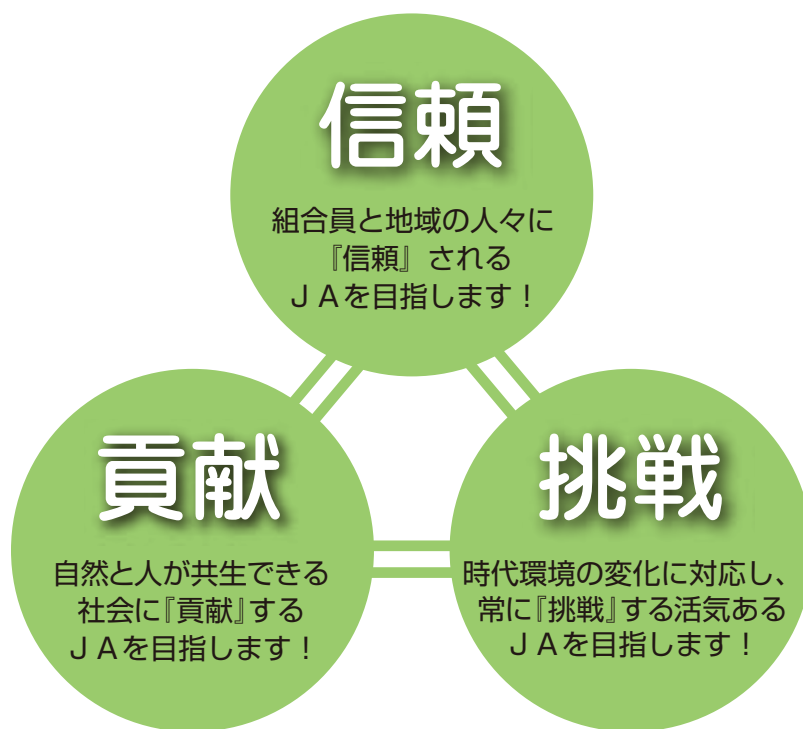


経営理念



2

経営理念・経営方針

経営方針

長期ビジョン（経営方針）

◆地域の農業者のために

地域の農業を支える農業者を応援し、元気と活力ある東美濃地域の農業を構築します。

◆地域に必要とされるために

ＪＡの存在意義と使命を見つめ直し、東美濃地域から必要とされるＪＡを目指します。

◆地域で信頼されるＪＡとなるために

組織基盤の拡充、経営基盤の強化、内部管理態勢の高度化等による健全性の向上により、将来にわたって安定した総合事業機能を発揮します。

中期経営計画（令和7年度～令和9年度）

J Aを取り巻く社会経済情勢は、様々な面で課題が山積しています。

農業面では、人口減少や高齢化がますます進み基幹的農業従事者数や耕地面積は減少を続けています。気候変動は水稻、野菜、畜産など農畜産物の生産に影響しています。また、国際情勢等の影響により生産資材価格は高止まりの状況が続いており、農業経営環境はより一層厳しいものとなっています。組織面では、世代交代による組合員や地域住民との関係性の希薄化など組織基盤の弱体化が懸念されています。

経営面では、「マイナス金利政策」が令和6年3月に解除され金利上昇による運用利回りの改善が期待される一方で調達利回りの上昇が懸念され、資金運用環境は予断を許さない状況です。また、今後も人口減少や環境変化が進む中で、組合員の農業を支える総合事業経営の機能を持続的に発揮していくためには経営基盤を強化する必要があります。そのため、支店（営業所、連絡所含む）・老朽化している営農施設（乾燥調製、育苗、園芸）の再編・集約・機能見直しの検討を継続的に進めるとともに収益力を維持・向上していくことが必要です。

政府が、「食料・農業・農村基本法」を四半世紀ぶりに改正したことを受け、J Aグループとして引き続き食料安全保障の強化や食料自給率の向上を訴えていくとともに、持続可能な農業生産の実現を目指し、自然環境・生産者・消費者のいずれにも過度な負担が生じない、バランスの取れた環境調和型農業に取り組む必要があります。

このような状況のもと、第32回岐阜県J A大会では、基本方針「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力の発揮」が決議されました。これを受け当J Aでは、「次世代につなぐ持続可能な農業の実現」「食と農を支える仲間づくりによる地域活性化への貢献」「組合員と地域を支える持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化」を3本柱とした中期経営計画（令和7年度～令和9年度）を策定いたしました。

J Aひがしみののは、地域の皆さまに「信頼され、必要とされるJ A」を目指し、全役職員が一丸となり中期経営計画（令和7年度～令和9年度）の達成に向けて全力で取り組んでまいります。

基本計画

1. 次世代につなぐ持続可能な農業の実現

- (1) 担い手経営体等への支援と次世代の担い手の育成・確保とともに環境に配慮した農業の推進
- (2) 農業者の所得増大の実現

2. 食と農を支える仲間づくりによる地域活性化への貢献

- (1) 活動と事業を通じた組合員の豊かなくらしの実現と食と農を支える仲間づくりによる地域の活性化
- (2) 食・農・J Aへの理解促進に向けた情報発信

3. 組合員と地域を支える持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化

- (1) 収益力の維持・向上と適切な内部統制による将来にわたる経営の健全性確保

中期経営計画の進捗状況（令和7年度 自己改革実践状況）

当組合では、中期経営計画（令和7年度～令和9年度）の初年度として、「次世代につなぐ持続可能な農業の実現」「食と農を支える仲間づくりによる地域活性化への貢献」「組合員と地域を支える持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化」の着実な実践に取り組んでまいりました。

達成状況は、計画に対する実績で判定しています。【100%以上：○、100%未満～60%以上：△、60%未満：×】

1. 次世代につなぐ持続可能な農業の実現に取り組めます。

（1）担い手経営体等への支援と次世代の担い手の育成・確保とともに環境に配慮した農業の推進を図ります。

目標基準項目	区分	令和7年度	達成状況	令和8年度	令和9年度
トマト新規就農者数	計画	2人	○	2人	2人
	実績	2人		—	—
栗担い手確保数	計画	3件	○	3件	3件
	実績	4件		—	—
産直出荷者増加数	計画	10人	○	10人	10人
	実績	31人		—	—
グリーンセンターにおける 産直販売高	計画	88,000千円	○	91,000千円	91,500千円
	実績	90,982千円		2,000千円プラス （変更前） 89,000千円	2,000千円プラス （変更前） 89,500千円
セルフメンテナンス 講習会回数	計画	12回	○	12回	12回
	実績	12回		—	—
おかげ販売数量	計画	1,560㎡	○	1,580㎡	1,600㎡
	実績	1,974㎡		—	—
減プラスチック 脱プラスチック 肥料予約数量	計画		○	17,000袋	17,500袋
	実績	16,979袋		5,000袋プラス （変更前） 12,000袋	4,500袋プラス （変更前） 13,000袋
農業融資 新規実行額	計画	185百万円	△	203百万円	223百万円
	実績	180百万円		—	—
農業者賠償 責任共済件数 （前年比）	計画	110%	△	110%	110%
	実績	80%		—	—

(2) 売れる農畜産物の生産提案と販売強化を実施します。

目標基準項目	区分	令和7年度	達成状況	令和8年度	令和9年度
今すり米販売数量	計画	4,000俵	○	5,000俵	6,000俵
	実績	4,030俵		—	—
ひがしみのトマトインターネット等販売数量	計画	4,600kg	△	3,500kg	3,500kg
	実績	3,420kg		1,300kgマイナス (変更前) 4,800kg	1,500kgマイナス (変更前) 5,000kg
肥育肉牛販売頭数	計画	1,685頭	○	1,690頭	1,710頭
	実績	1,827頭		—	—
低コスト肥料予約数量	計画	8,500袋	○	10,500袋	10,600袋
	実績	10,378kg		1,900袋プラス (変更前) 8,600袋	1,900袋プラス (変更前) 8,700袋

2. 食と農を支える仲間づくりによる地域活性化への貢献に取り組みます。

(1) 活動と事業を通じた組合員の豊かなくらしの実現と食と農を支える仲間づくりによる地域活性化取り組みます。

目標基準項目	区分	令和7年度	達成状況	令和8年度	令和9年度
職員以外の方と一緒に活動等の実施	計画	全支店で1回以上	○	全支店で1回以上	全支店で1回以上
	実績	全支店で1回以上		—	—

(2) 食・農・JAへの理解促進に向けた情報発信に取り組みます。

目標基準項目	区分	令和7年度	達成状況	令和8年度	令和9年度
公式LINE登録者数	計画	1,400人	○	4,000人	6,000人
	実績	2,715人		2,250人プラス (変更前) 1,750人	4,000人プラス (変更前) 2,000人

3. 組合員と地域を支える持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化を図ります。

(1) 収益力の維持・向上と適切な内部統制による将来にわたる経営の健全性確保を図ります。

目標基準項目	区分	令和7年度	達成状況	令和8年度	令和9年度
期末自己資本額	計画	120.4億円	○	122.3億円	123.0億円
	実績	121.5億円		1.5億円プラス (変更前) 120.8億円	1.5億円プラス (変更前) 121.5億円